

米国北西部 サクランボの収穫予想

[FreshPlaza 2024年4月23日](#)

太平洋岸北西部のサクランボの収穫についてすべてを評価するのはまだ早いものの、その開始は昨年よりはわずかに早い6月1日頃と予想されている。シェラーンフレッシュ社のマック・リガン氏は、昨年この地域から出荷されたサクランボは1,800万箱強であったと指摘しつつ、「昨年よりも着果量が少ないと思う」と話す。

しかし、ブリティッシュコロンビア州(カナダ)では、今年初めの寒波のため、今シーズンのサクランボの収穫はあったとしても最小限に留まるという複数の報告があることから、米国太平洋岸北西部からのサクランボの出荷シーズンには高い需要があるものと見られる。

同氏は、「今年は出荷の開始が遅くなるが、ワシントン州でもウェナチー地区の晩生のサクランボの一部が寒波の影響を受けたので、出荷期間も短くなるかも知れない」と言う。すなわち、太平洋岸北西部からのサクランボの出荷は8月15日頃に終了する可能性があり、これは通常レイバーデー(労働者の日 9月の第1月曜日)まで出荷を行ってきた過去のシーズンに比べて非常に早い。なお、カリフォルニア州でも出荷が遅くなるかも知れず、その場合は同州産のサクランボと6月下旬に重複する可能性がある。

リガン氏は、「ワシントン州から良いサイズの生食用に適した果実が十分に出荷できることを強く期待している。生産者はシェラーン品種の木を昨年に比べて非常に強く剪定したので、今年は大玉で質の高い生食向きのサクランボが多く見られると思う。全体的な作柄も良いと思う。ポップコーンのような(散発的な)開花ではなく、樹上で非常に均等であるため、サクランボの成熟も均一になるだろう」と述べた。(以下、展示会について省略)

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク (この翻訳は特定の企業や製品を推奨するものではありません)

ニュージーランド キウイフルーツは天候に恵まれ豊作

[Farmers Weekly 2024年4月23日](#)

キウイフルーツ部門は、順調な天候、良好な労働力供給、及び高品質な果実のおかげで、ここ数年で最高の部類の収穫期を享受している。ニュージーランド・キウイフルーツ生産者協会(NZKGI)のコリン・ボンドCEOは、ベイ・オブ・プレントイ地方は乾燥した天候に恵まれ、果樹園から梱包施設への果実の流れは途切れることなく円滑であると述べた。(以下「」は同氏の発言)

この状況は、このセクターの4年間の様々な混乱の後にやって来た。2年前には、記録的な生産量と深刻な労働力不足が重なった結果、十分な収穫作業ができないために収穫量を大きく損ない、その後の出荷に影響が出た。その前の2年間にはコロナ禍のため人員の確保と配置が制約されて混乱が生じ、ロックダウンと重なった2020年の収穫期には経営上の頭痛の種が一つ増えた。

「良いシーズンが期待されていた。バックパッカーが増え、認定季節雇用主制度による作業員の数が増加し、収穫後処理の業者が梱包施設の一層の自動化を進めたおかげで、労働力の状況は良好である。」

しかし、生産者の間では、ゼスプリの最新の収穫予測が、1億9,500万箱から、記録的なサンゴールド品種の1億2,500万箱を含めても1億8千万箱に下方修正されたことに関し、一定の懸念がある。

この下方修正は、重大な気象現象の影響もあって1億9千万箱から1億3,500万箱に修正された昨年に比べれば何でもない。しかしボンド氏は、「我々は、業界とゼスプリが出荷量のより正確な推計に努めていることを承知している」としつつ、「これは重要なことである。なぜなら、ゼスプリはもっと良い当初価格を提示できたことを意味するからだ。今年1億8千万箱になるとわかっていたら、昨年の出荷量からの増加が言われたほど大きくないことから、当初の生産者価格を押し上げるのに役立つかもしれない」と述べた。

収益の面では、生産者はより良い年を期待しており、グリーンキウイの生産者は2022-23年度3月の1ヘクタール当たり5万7千ドルに対し、6万~6万4千ドルを期待できると推定している。サンゴールド品種の生産者は、昨年の1ヘクタール当たり平均13万7千ドル対して、13万8千~14万3千ドルを見込んでいる。

執筆者: リチャード・レニー